

### 第85回福島県中央メーデー

# 「働くことを軸とする安心社会の実現」を目指そう！

## ～荒川運動公園に約3,000名超が結集～

第85回福島県中央メーデーは4月26日（土）晴天のもと、4年振りに荒川運動公園に連合福島並びに労福協傘下の組合員など、約3,000名超が結集して開催された。

主催者を代表して影山道幸実行委員長は、「東日本大震災の発生から4回目のメーデーを迎えた。今なお幾多の困難に直面しているが、力を合わせ、心をつなげて行けば必ずや復興と再生は叶うはずである。連帯と支援の行動を構成組織と共に一丸となって取り組んで行こう。一方、社会に目を向けても多くの困難が立ちはだかっている。特に、貧困と格差問題は社会の許容範囲を超え、社会の持続可能性さえ脅かす極めて深刻な事態に置かれている。今こそ『働くことを軸とする安心社会の実現』にむけて総力をあげて行動しよう。」と挨拶した。

その後、佐藤雄平福島県知事、増子輝彦民主党県連代表、小川右善社民党県連代表など来賓の皆さんからお祝いのご挨拶を頂き、引き続いてメーデー宣言と「労働者保護ルールの改悪に断固反対する」特別決議を採択した後、決議文を手交してから影山実行委員長のガンバロー三唱で式典を終えた。

式典を終えた後、4年ぶりに福島駅のこむこむ前までデモ行進を行い、行き交う市民にシュプレヒコールなどで、労働者の切実な思いを訴えた。午後、街なか広場で行われたアピールコンテストの表彰では、電機連合ムネカタ労働組合が、そのアピール度を評価され見事最優秀賞に輝いた。メーデーイベントは仮面ライダーウィザードとの握手会から始まり、福島学院大学のよさこい踊りやご当地アイドルLoveit（ラビット）ライブなど、真夏に近い気温の中、汗だくで踊り歌ながら観客を魅了していた。

また、ふあふあ遊具やミニ鉄道、更には地元の農産物販売、なみえ焼きそば、喜多方ラーメン、授産施設作品展示即売会など多くの店が出店し、それぞれが大盛況で大変盛り上がった。



第85回福島県中央メーデーに参加された皆さん



主催者を代表して挨拶する影山道幸実行委員長